

2025年度履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」

多様化が進む社会にあって、
あなたは他の専門家と
どのようなチームを
つくりますか？

※各講座の詳細はそれぞれの2次元コードからご確認ください

チームビルディング研修

個人の強みをブラッシュUP!
チームへの貢献度UP!

5月11日(日)
9:00～16:00



チームワーク研修

チームの目標達成にむけて
協調性UP! 団結力UP!

5月25日(日)
9:00～16:00



多職種チームによる実地実習

ロールプレイを通して多職種
との連携の仕方を学ぶ

9月13日(土)
9:00～17:00



多職種チームによる事例検討

これまでの体験をこれから
活かすための検討会

9月27日(土) } 10:00～17:00
10月18日(土) }



IPWを促進するF-SOAIP研修

他にはないリーダー研修があり、
IPW促進のスキルアップに

6月20日(金) 8月7日(木)
9月26日(金) 3回共10:00～17:00



ファシリテータ研修

ファシリテーションの
多様なスキルが身につく

6月7日(土) 6月28日(土)
7月12日(土) 3回共9:30～16:30



お問合せ

埼玉県立大学・専門職連携教育研修センター

☎ 048-973-4114 (土日祝を除く)

✉ ipe-kenshu@spu.ac.jp

ホームページ



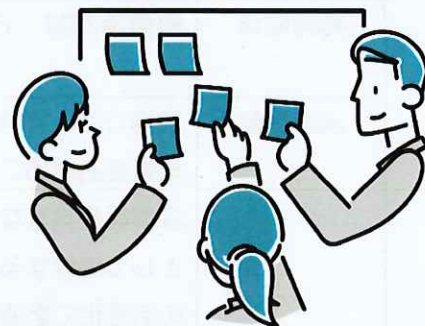


チームビルディング研修



職場のチームビルディングを振り返って、
個人でもチームでも気持ちよく仕事するための学び
の機会にしませんか？

保健・医療・福祉・教育現場などの職場では、
日ごろからチームで業務に取り組むことが多いと思います。
チームとはいっても、世代、職種や立場が異なっていたり、
仕事への姿勢や意欲の温度差などがあったりして葛藤を抱えることがあります。
職場の中ではその思いを伝えられずに、不安やストレスをのみ込んでしまっていないですか？支援する人が強いスト
レスを感じたままでは、支援を受ける人へ伝わってしまいます。
本研修では、チームに対する認識をリフレッシュするために、チームビルディングの基本を学び、職場で活用できるコ
ミュニケーションスキルを獲得します。



対象 チームビルディングを学びたい方※

日時 2025 年5月 11 日(日) 9:00~16:00

受講料 3,000 円 **定員** 15 名

会場 埼玉県立大学(越谷市三野宮 820、東武スカイツリーライン「せんげん台駅」からバス)

申込 埼玉県立大学ホームページから **4 月 21 日(月)までに WEB 申込**

※保健医療福祉・教育関係の分野でお勤めの方を主な対象としています。職種や勤務年数など問いません。

受講者の声

多職種との意見交換は楽しかった。大学での授業は
非日常体験で気分転換になる。

同一職種での研修会(専門性を深めるため)は多く開催されているが、
自分と異なる職業の人たちとどう仕事していくのかの勉強会はそれほ
ど多く行われておらず大変貴重です。今後も続けてください。

【プログラムの紹介】

チームビルディングに関する基礎的知識を学ぶための講義と、グループワークをとおしてチームづくりを体
験します。各チームに講師が配置され、みなさまの演習を講師が手厚くサポートしますので、安心してご参
加ください。

【講義】コミュニケーションの基礎、専門職連携が求められる背景と基礎力、チームビルディング理論など

【演習】職場でのコミュニケーションのとり方、日常業務に使えるコミュニケーションなど

【振り返り】振り返りスキルの確認、演習成果の発表、演習における個人・チーム・全体での振り返りなど

★各々が抱える職場チームの課題と対応について、意見交換をできるような場も設ける予定です。

講師の紹介

山本英子(看護学科)

吉村 基宜(看護学科)

井上和久(理学療法学科)

善生まり子(看護学科)

個別講座名	チームビルディング研修（対面開催）					
担当教員	〇善生まり子、山本英子、井上和久、吉村基宜					
開講日時	5月11日（日）9：00～16：00					
総時間数	研修時間数：6時間 履修証明プログラムにおける時間数：8時間＊ ＊1時間＝45分間（実質の受講時間）＋15分間（自己学習）					
講座概要	職場では、目標達成のために個々人のもつ能力を発揮し、より高い臨床実践を目指して、チームで成果をあげることが求められています。本研修は、以下を目的とします。 保健医療福祉など様々な人材が集う職場において、専門職連携のもとで互いに尊重しながらチームとして機能するために、ヒューマンケアおよびチームビルディングの考え方の基礎を学び、チームの活性化に必要なコミュニケーションスキルを習得できる。 〔キーワード〕 チームビルディング、ヒューマンケア、コミュニケーション					
到達目標	・チームビルディングの基本を学び、職場で活用できるコミュニケーションスキルを習得できる。 ・様々な演習を通して、より高いヒューマンケアを目指しコミュニケーションとチームワークの重要性を再認識し、安心と信頼を築く職場、組織づくりの足がかりができる。 ・専門職連携におけるチームビルディングの基礎を学び、職場でのコミュニケーションの現状を振り返り、コミュニケーションの重要性について共通認識を高める。 ・チームの活性化にむけて、日常業務で取り組めるコミュニケーションが実践できる。					
講義内容及び方法	<table><tr><th>講座内容</th><th>講座方法</th></tr><tr><td>◆オリエンテーション 1. 講義 ・コミュニケーションの基礎 ・専門職連携が求められる背景と基礎力 多職種で連携するポイント（チーム活動） ・チームの力を発揮したヒューマンケア ・チームビルディング理論 タックマンモデル ・日常業務に使えるチームビルディングを円滑にするコミュニケーション 2. 演習 ・チームで自己紹介する ・研修受講者でチームをつくり受講目的を共有する ・職場（チーム）でのコミュニケーションのとり方を振り返る ・円滑なコミュニケーションに関するロールプレイを行う 3. 全体リフレクション ・チームにおける各演習成果を発表し、全体で共有し振り返る ・個々人の研修での学びを全体で共有する ◆修了式 ◆受講アンケート</td><td>・講義 ・演習 ・リフレクション</td></tr></table> ＜事前課題＞ ワークシート「職場（チーム）における個々のコミュニケーションの振り返り」		講座内容	講座方法	◆オリエンテーション 1. 講義 ・コミュニケーションの基礎 ・専門職連携が求められる背景と基礎力 多職種で連携するポイント（チーム活動） ・チームの力を発揮したヒューマンケア ・チームビルディング理論 タックマンモデル ・日常業務に使えるチームビルディングを円滑にするコミュニケーション 2. 演習 ・チームで自己紹介する ・研修受講者でチームをつくり受講目的を共有する ・職場（チーム）でのコミュニケーションのとり方を振り返る ・円滑なコミュニケーションに関するロールプレイを行う 3. 全体リフレクション ・チームにおける各演習成果を発表し、全体で共有し振り返る ・個々人の研修での学びを全体で共有する ◆修了式 ◆受講アンケート	・講義 ・演習 ・リフレクション
講座内容	講座方法					
◆オリエンテーション 1. 講義 ・コミュニケーションの基礎 ・専門職連携が求められる背景と基礎力 多職種で連携するポイント（チーム活動） ・チームの力を発揮したヒューマンケア ・チームビルディング理論 タックマンモデル ・日常業務に使えるチームビルディングを円滑にするコミュニケーション 2. 演習 ・チームで自己紹介する ・研修受講者でチームをつくり受講目的を共有する ・職場（チーム）でのコミュニケーションのとり方を振り返る ・円滑なコミュニケーションに関するロールプレイを行う 3. 全体リフレクション ・チームにおける各演習成果を発表し、全体で共有し振り返る ・個々人の研修での学びを全体で共有する ◆修了式 ◆受講アンケート	・講義 ・演習 ・リフレクション					



チームワーク研修



自身や職場チームに対して心地よい、温かな
気持ちを育んで、チームワーク向上に役立つ
スキルを学ぶ機会にしませんか？

保健・医療・福祉・教育などの現場では、目標達成のために

個人のもつ能力を発揮し、より高い臨床実践を目指して

チームで成果をあげることが求められています。その時々で

成果をあげるためには、業務の効率性よりもチームの協調性が優先される局面もあります。

本研修では、職場のチームの現状を振り返る機会を設けて、強み、弱み、課題や対策を考えます。研修でチームをつくり、自身とチームを俯瞰する力を養うことで、目標達成のためのチームワークについて体験します。



対象 チームワークを学びたい方※

日時 2025 年5月 25 日(日) 9:00~16:00

受講料 3,000 円 **定員** 15 名

会場 埼玉県立大学(越谷市三野宮 820、東武スカイツリーライン「せんげん台駅」からバス)

申込 埼玉県立大学ホームページから **5 月 7 日(水)までに WEB 申込**

※保健医療福祉・教育関係の分野でお勤めの方を主な対象としています。職種や勤務年数など問いません。



受講者の声

自身の仕事の進め方、スタッフとの関わり方を見直す
場面が多く、自らを振り返ることができました。

アイスブレイクやチームでのワークなど、職場で取り入れやすいもの
をたくさん教えてもらいました。

楽しむ余裕もしっかり持ちながら、主任として勤めたいです。

【プログラムの紹介】

チームワークに関する基礎的な知識を学ぶための講義と、研修でチームをつくり、目標達成のためのチームワークを体験します。各チームに講師が配置され、みなさまの演習を講師が手厚くサポートしますので安心してご参加ください。

【講義】専門職連携におけるチームワーク、リーダーシップとメンバーシップ、リフレクションの意義など

【演習】アイスブレイクにつながるチームの自己紹介、職場のチームワークの振り返りなど

【振り返り】演習成果の発表、各演習における個人・チーム・全体での振り返りなど

★各々が抱える職場チームの課題と対応について、意見交換をできるような場も設ける予定です。

講師の紹介

押野修司(作業療法学科) 柴田貴美子(元作業療法学科) 原明子(看護学科)
阿部真純(看護学科) 善生まり子(看護学科)

個別講座名	チームワーク研修（対面開催）					
担当教員	○善生まり子、押野修司、柴田貴美子、原明子、阿部真純					
開講日時	5月25日（日）9：00～16：00					
総時間数	研修時間数：6時間 履修証明プログラムにおける時間数：8時間＊ ＊1時間＝45分間（実質の受講時間）＋15分間（自己学習）					
講座概要	職場では、目標達成のために個々人のもつ能力を発揮し、より高い臨床実践を目指して、チームで成果をあげることが求められています。本研修は、以下を目的とします。 職場チームを振り返るとともに、研修でチームをつくり、目標達成のためのチームワークをとおして、互いに語り合い、互いから学び合いながら、自身とチームを俯瞰する力（リフレクション）を身に付け、組織づくりの足がかりとなる力を養う。 〔キーワード〕 チームワーク、組織、リフレクション					
到達目標	・職場のチームワークの向上にむけて、自身とチームを俯瞰する力（リフレクション）を養える。 ・様々な演習を通して、より高いヒューマンケアを目指しコミュニケーションとチームワークの重要性を再認識し、安心と信頼を築く職場、組織づくりの足がかりができる。 ・職場での自身のチームへの関わりの現状を振り返り、特性を再認識できる。 ・どのようなことがチームの成果をあげる推進ポイントとなるのかを理解できる。 ・研修チームにおいて、目標達成を目指したチームワークについて実践できる。					
講義内容及び方法	<table><tr><th>講座内容</th><th>講座方法</th></tr><tr><td>◆オリエンテーション 1. 講義 ・専門職連携におけるチームワークとは ・リーダーシップとメンバーシップとは ・目標達成を目指したチームワークとは ・専門職連携におけるリフレクションの意義 2. 演習 ・チームで自己紹介 ・職場のチームワークにおける自身の関わりの振り返りを共有する ・ゲームを通してチームワークを体験し、その体験を通してリーダーシップ、メンバーシップについて振り返り、可視化できる 3. 全体リフレクション ・チームにおける各演習成果を発表し、全体で共有し振り返る ・個々人の研修での学びを全体で共有する ◆修了式 ◆受講アンケート</td><td>・講義 ・演習 ・リフレクション</td></tr></table> ＜事前課題＞ ワークシート「職場のチームワークにおける自身の関わりの振り返り」		講座内容	講座方法	◆オリエンテーション 1. 講義 ・専門職連携におけるチームワークとは ・リーダーシップとメンバーシップとは ・目標達成を目指したチームワークとは ・専門職連携におけるリフレクションの意義 2. 演習 ・チームで自己紹介 ・職場のチームワークにおける自身の関わりの振り返りを共有する ・ゲームを通してチームワークを体験し、その体験を通してリーダーシップ、メンバーシップについて振り返り、可視化できる 3. 全体リフレクション ・チームにおける各演習成果を発表し、全体で共有し振り返る ・個々人の研修での学びを全体で共有する ◆修了式 ◆受講アンケート	・講義 ・演習 ・リフレクション
講座内容	講座方法					
◆オリエンテーション 1. 講義 ・専門職連携におけるチームワークとは ・リーダーシップとメンバーシップとは ・目標達成を目指したチームワークとは ・専門職連携におけるリフレクションの意義 2. 演習 ・チームで自己紹介 ・職場のチームワークにおける自身の関わりの振り返りを共有する ・ゲームを通してチームワークを体験し、その体験を通してリーダーシップ、メンバーシップについて振り返り、可視化できる 3. 全体リフレクション ・チームにおける各演習成果を発表し、全体で共有し振り返る ・個々人の研修での学びを全体で共有する ◆修了式 ◆受講アンケート	・講義 ・演習 ・リフレクション					



多職種チームによる実地実習

【IPW 実習】



多職種連携に意図的に目を向けた

「実践的なチーム活動」を**体験(ロールプレイング)**してみませんか？

そして、各自の職場の多職種連携のあり方の意見交換しませんか？

多職種連携(IPW)で重要とされる「**チーム形成**」・「**コミュニケーション**」・「**リフレクション(省察、経験学習)**」

について、意図的な実践体験(IPW 実習※)を通して学びます。

※受講者多職種混合チームで、実際の利用者様の支援プラン立案プロセス(2 施設の協力)

多職種連携の理論を実践的に深めようという方、または、OJT 的に多職種連携を学ぼうという方、

どちらの方にも有益な研修になるようプログラムしております。

対象 ●参加型の研修で、専門職連携について主体的に学びたい方

●Web 環境が整っていて、パソコンで参加できる方(タブレット不可)

日時 2025 年 9 月 13 日(土)9:00~17:00(1 日間)

受講料 3,000 円 **定員** 20 名

会場 オンライン Web 開催

申込 埼玉県立大学ホームページから 9 月 8 日(月)までに WEB 申込

※保健医療福祉・教育関係の分野でお勤めの方を主な対象としています。職種や勤務年数など問いません。



受講者の声

多職種の視点の違いを理解した上で、**お互いを尊重したコミュニケーション**によって、患者様・利用者様の“より良い暮らし”の実現に繋げることが出来ることを**実践的に学びました**。

“**リフレクション**”によって反省点や良かった点を自分のなかで明確にすることで、次回につなげることが出来る経験になることを学びました。**今後の仕事でも実践**していきたい。

※今回は Web 開催です。

【プログラムの紹介】

実地実習(実際の利用者様の協力:**オンライン**)を通して、「**チームによる利用者の問題解決**」および「**チーム形成**」プロセスに意図的に目を向け、多職種連携(IPW)の課題やあり方を考えます。**チームごとにファシリテータを配置し、皆さまを手厚くサポートしますので、安心してご参加ください。**

【事前動画視聴】多職種連携に関する基礎知識に関する動画視聴(30 分程度)

【実習(オンライン)】多職種混合チームによる実際の利用者についてのディスカッション

【振り返り(リフレクション)】チーム活動プロセスを振り返り、IPW のあり方や課題の意見交換

★各々が抱える職場チームの課題と対応等について、意見交換をできる時間も設ける予定です。

講師・協力施設ファシリテータの紹介

講師

田口孝行(理学療法学科) 丸山優・山岸直子・吉村基宜(看護学科) 岡田茂治(健康開発学科)
押野修司(作業療法学科) 保科寧子(社会福祉子ども学科) 柴崎智美(埼玉医科大学)

協力施設ファシリテータ

内海巨史(介護保健施設エスポワール秩父) 酒本隆敬(特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館)

個別講座名	多職種チームによる実地実習（専門職連携実習：IPW 実習）																			
担当教員	○田口孝行、○丸山優、岡田茂治、押野修司、山岸直子、吉村基宜、保科寧子、柴崎智美(埼玉医大)、内海巨史（介護老人保健施設エスポワール秩父）、酒本隆敬（特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館）																			
開講日時	9月13日(土) 9：00～17：00（講座・実地実習・リフレクション） ※事前動画視聴あり																			
総時間数	研修時間数：約 7.5 時間（事前動画視聴時間含む） 履修証明プログラムにおける時間数：10時間* *1時間＝45分間（実質の受講時間）＋15分間（自己学習）																			
講座概要	実地実習（実際の利用者様の協力：オンライン）を通して、利用者中心の統合されたケアを創造するための、「チームによる利用者の問題解決プロセス」および「チーム形成プロセス」に意図的に目を向け、専門職連携（IPW）の課題やあり方を考える。また、各所属施設でのより良い IPW に向けた課題や解決策についても考える。																			
到達目標	(1) 利用者の理解と課題解決の実践方法を意図的に確認する (2) チームメンバーの専門性と多様性を相互理解する態度を意図的に確認する (3) チーム形成プロセスと協働の実践方法を意図的に確認する (4) 自己課題、チーム課題、地域連携課題等を見出すリフレクションができる																			
講義内容及び方法	<table><tr><th>開講日</th><th>講座内容</th><th>講座方法</th></tr><tr><td>事前動画視聴</td><td>1) 下記の動画を研修日までに視聴する。 ・「IPW/IPE・リフレクションについて」 ・「IPW におけるチーム形成と活動」</td><td>動画の配信</td></tr><tr><td rowspan="6">9月13日(土) ※オンライン</td><td>2) IPW 実習のオリエンテーション (9:00～) ・目的・目標・方法・チームメンバー</td><td>講座</td></tr><tr><td>3) チーム活動 (9:30～10:00) ・アイスブレイク（自己紹介） ・対象者（実際の利用者）の情報共有</td><td>グループワーク</td></tr><tr><td>4) IPW 実習 (10:00～15:00) ・インタビューによる情報収集と共有 ・支援方針・計画（案）のディスカッション ・発表会に備えた発表内容・資料の整理</td><td>グループワーク</td></tr><tr><td>5) チーム発表とディスカッション (15:00～16:00)</td><td>発表会</td></tr><tr><td>6) リフレクション (16:00～17:00) ・自己・チーム・専門職としての課題の明確化 ・受講者の各所属施設における IPW の課題</td><td>リフレクション</td></tr></table> Zoom を使用して実施します。基本的な操作方法などは、各自でご確認ください。 併せて、Google スライドを活用します。基本的な操作で十分ですが、分からなければ研修前週（9月1日～5日）に説明します（申込み時にお聞きし、個別対応します）。 研修当日は一人1台使用できるパソコンをご用意ください。（タブレット不可） 受講にかかる通信費は受講者負担となります。			開講日	講座内容	講座方法	事前動画視聴	1) 下記の動画を研修日までに視聴する。 ・「IPW/IPE・リフレクションについて」 ・「IPW におけるチーム形成と活動」	動画の配信	9月13日(土) ※オンライン	2) IPW 実習のオリエンテーション (9:00～) ・目的・目標・方法・チームメンバー	講座	3) チーム活動 (9:30～10:00) ・アイスブレイク（自己紹介） ・対象者（実際の利用者）の情報共有	グループワーク	4) IPW 実習 (10:00～15:00) ・インタビューによる情報収集と共有 ・支援方針・計画（案）のディスカッション ・発表会に備えた発表内容・資料の整理	グループワーク	5) チーム発表とディスカッション (15:00～16:00)	発表会	6) リフレクション (16:00～17:00) ・自己・チーム・専門職としての課題の明確化 ・受講者の各所属施設における IPW の課題	リフレクション
開講日	講座内容	講座方法																		
事前動画視聴	1) 下記の動画を研修日までに視聴する。 ・「IPW/IPE・リフレクションについて」 ・「IPW におけるチーム形成と活動」	動画の配信																		
9月13日(土) ※オンライン	2) IPW 実習のオリエンテーション (9:00～) ・目的・目標・方法・チームメンバー	講座																		
	3) チーム活動 (9:30～10:00) ・アイスブレイク（自己紹介） ・対象者（実際の利用者）の情報共有	グループワーク																		
	4) IPW 実習 (10:00～15:00) ・インタビューによる情報収集と共有 ・支援方針・計画（案）のディスカッション ・発表会に備えた発表内容・資料の整理	グループワーク																		
	5) チーム発表とディスカッション (15:00～16:00)	発表会																		
	6) リフレクション (16:00～17:00) ・自己・チーム・専門職としての課題の明確化 ・受講者の各所属施設における IPW の課題	リフレクション																		



多職種チームによる事例検討

多職種チームで事例を可視化し、チーム形成についてリフレクションを行います。
また、多職種連携における課題を検討し、学ぶ機会とします。



この研修で事例について、多職で検討し、可視化してみませんか？！

多職種からの意見・提案により課題解決方法が見つかるかもしれません



チーム活動をリフレクションすると、チーム形成のプロセスが理解できます

多職種連携の課題が解決できるヒントが得られるかも！？

日程

1日目 9月27日(土) 10:00~17:00 (講義・演習・発表) : 対面
2日目 10月18日(土) 10:00~17:00 (講義・演習・発表) : 対面

受講対象

全日程(2日間)を受講できる方で、以下に該当する方

- ▼事例の問題・課題解決に悩まれている方
 - ▼専門職として、多職種チームからの新たな課題解決方法の意見を求めている方
 - ▼IPWの実践事例を学びたい社会人の方
- ※受講者の職種や勤務年数など問いません

定員

5名

受講料

6,000円(2日分)

会場

埼玉県立大学(越谷市三野宮 820) ※全日程会場での対面開催

担当講師 井上和久<理学療法学科>、國澤尚子<看護学科>、善生まり子<看護学科>
押野修司<作業療法学科>

個別講座名	多職種チームによる事例検討							
担当教員	○井上和久、國澤尚子、善生まり子、押野修司							
開講日時	1 回目：2025 年 9 月 27 日(土) 10：00～17：00 2 回目：2025 年 10 月 18 日(土) 10：00～17：00							
総時間数	研修時間数：12 時間（6 時間×2 日間） 履修証明プログラムにおける時間数：16 時間＊ ＊ 1 時間＝45 分間（実質の受講時間）＋15 分間（自己学習）							
講義概要	模擬事例について、チームで検討し連携における課題の明確化、解決方法の模索などを行います。また、受講者が経験した自施設の事例(一部)についてもチームで同様に実施します。この検討プロセスを通して、チームでのディスカッションを体験します。また、チームで検討した内容およびプロセスを発表し合い、多職種チームによる事例検討の理解を深めます。 受講者 5 名 1 グループを編成し、受講者の事例について、多職種の課題を明確化し、課題解決方法について検討します。 1. 模擬事例等の連携における課題の明確化 2. 課題解決方法の検討 3. プレゼン資料の作成 4. 発表 5. リフレクション							
到達目標	1. 多職種チームで事例を可視化できる 2. チーム活動をリフレクションすることによりチーム形成のプロセスが理解できる 3. 多職種連携における課題を検討できる							
講義内容及び方法	<table><tr><th>開講日</th><th>講義内容</th></tr><tr><td>9 月 27 日(土) ※対面 (埼玉県立大学)</td><td>1. オリエンテーション 2. アイスブレイク 3. IPW の基礎(講義) 4. IPW におけるリフレクション(講義) 5. コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 6. 馬介在療法におけるチームワーク(講義) 7. 模擬事例について検討 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション</td></tr><tr><td>10 月 18 日(土) ※対面 (埼玉県立大学)</td><td>1. 事例について検討 (1) 1) 各事例について検討する事例の選定 2. 事例について検討 (2) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. 事例について検討 (3) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 4. 発表 5. IPW の課題と影響を与える要因(講義)</td></tr></table>		開講日	講義内容	9 月 27 日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	1. オリエンテーション 2. アイスブレイク 3. IPW の基礎(講義) 4. IPW におけるリフレクション(講義) 5. コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 6. 馬介在療法におけるチームワーク(講義) 7. 模擬事例について検討 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション	10 月 18 日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	1. 事例について検討 (1) 1) 各事例について検討する事例の選定 2. 事例について検討 (2) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. 事例について検討 (3) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 4. 発表 5. IPW の課題と影響を与える要因(講義)
開講日	講義内容							
9 月 27 日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	1. オリエンテーション 2. アイスブレイク 3. IPW の基礎(講義) 4. IPW におけるリフレクション(講義) 5. コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 6. 馬介在療法におけるチームワーク(講義) 7. 模擬事例について検討 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション							
10 月 18 日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	1. 事例について検討 (1) 1) 各事例について検討する事例の選定 2. 事例について検討 (2) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. 事例について検討 (3) 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 4. 発表 5. IPW の課題と影響を与える要因(講義)							



IPW を促進する F-SOAIP 研修

日程(全 3 日間に要参加)

6 月 20 日(金) } 10:00
8 月 7 日(木) } ~
9 月 26 日(金) } 17:00

●受講料 9,000 円(税込)

概要・目標・内容・事前準備・課題等はシラバスをご参照ください。

●F-SOAIP のシステム実装(2024 年度末現在:予定を含む)

計6領域で 17 種類/AI 活用(4領域で7種類)

- ケアマネジメント:4 種類(会議の要約・F-SOAIP の自動分類等:3)
- 介護記録:4 種類(認知症 BPSD の AI 等:2)
- 医療機関のカルテ:1 種類
- 自治体・福祉相談記録:5 種類(1) / ●地域包括ケア:1 種類
- 児童福祉施設:2種類(遠隔によるスパービジョン等:1)

F-SOAIP の最新情報は HP(<https://seikatsu.care/>)をご参照。

●F-SOAIP のリーダー研修としての開催は本研修のみ

事業所や法人・地域、自治体などを対象に、F-SOAIP の導入や研修を担い、IPW を促進できる人材養成を目的としています。

●専門雑誌での掲載 ※執筆や監修した専門誌: 28誌(連載:16誌) 126本 (2024 年度末現在)

連載中『自治実務セミナー』『月刊ケアマネジメント』『Vision と戦略』『月刊先端教育』/連載済『月刊新医療』『訪問リハビリテーション』『カイゴのチカラ』『住民行政の窓』等/特集済『ケアマネジャー』『エキスパートナース』『臨床栄養』等

茅野市保健福祉サービスセンター :2024 年度修了者 1 名

包括的支援体制のパイオニアとして知られる茅野市では、事務簡素化と多職種連携強化等を目的として、主体的に書籍(右図)のみで F-SOAIP を導入されていました。中堅職員が当研修を受講し、伝達研修を行い、新旧センター長らとともに、その一連の経過や成果等を「月刊ケアマネジメント」、「自治実務セミナー」にご執筆いただきました。なお、日本福祉大学学長や茅野市首長様より応援メッセージもいただきました。



国立障害者リハビリテーションセンター

自立支援局 サービス管理責任者 納冨 祐輔 様

:2023 年度修了/埼玉県立大学の第一期卒業生

研修を受講後、職場における多職種連携人材の育成に役立てるため、伝達研修を開催しました。

☆詳細は保健・医療・福祉の専門雑誌「Vision と戦略」に寄稿



受講後のご活躍を紹介

東京都立墨東病院 看護主任 畑中達也 様

:2024 年度修了

ACP や退院支援、情報共有時には必ず記載しています。

F-SOAIP の記録法は、継続すべき援助の方向性が可視化され、チームとして患者さんに関わっていることが実感できます。

☆2022年度より(国際医療福祉大学にて開催)複数名にてリーダー研修へ参加。2024 年度より、GE ヘルスケアのコマンドセンター設置とともに、富士通 Japan の電子カルテに F-SOAIP を搭載。当研修への職員派遣を推奨している副院長・看護部長らが「月刊新医療」「エキスパートナース」等に寄稿

戸田中央メディカルケアグループ本部看護局介護部長
黒井 有子 様:2023 年度修了

各施設より、記録委員を選出し記録記載基準を改定しました。

その段階で F-SOAIP を取り入れ、グループ内の主に老健・特養の介護・看護職に導入しました。さらに研修会を開き、内容を周知し各施設での運用に繋がりました。他職種への浸透も視野に入れています。

<講師・ファシリテータ> 詳細は、本学の研究シーズをご確認ください。

嵩末 恵子(社会福祉子ども学科) 小嶋 章吾(国際医療福祉大学大学院)

●3 日目のゲストは、受講者の所属や職種等により決定します。

●研修中の資料に、上記書籍の該当頁を付記することがございます。

F-SOAIP を開発し社会実装を図るべく、実践導入・研修・執筆や教育・研究をサポートしています。

個別講座名	IPW を促進する F-SOAIP 研修														
担当教員	○嵩末 憲子、小嶋 章吾（国際医療福祉大学大学院 特任教授） ※受講者の領域等によりゲスト数名：3 回目														
開講日時	1 回目：6 月 20 日(金) 10：00～17：00 2 回目：8 月 7 日(木) 10：00～17：00 3 回目：9 月 26 日(金) 10：00～17：00														
総時間数	研修時間数：18 時間（6 時間×3 日間） 履修証明プログラムにおける時間数：24 時間* *1 時間＝45 分間（実質の受講時間）＋15 分間（自己学習）														
講義概要	※3 回とも講義および演習ワーク（個人・グループ）を実施する ・F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ ・F-SOAIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～ ・先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW の実践変容や DX を展望する ※ゲスト：受講者の目標や職種をふまえ、多機関多職種へ依頼 ※3 回分の出席と課題提出により、本講座を修了となります。														
到達目標	・F-SOAIP の講義や書換えワーク、伝達研修などを通じ、IPW の実践変容による好循環や諸課題解決に向けた DX を展望できるようにする。 ・F-SOAIP の普及・導入を推進できるリーダーに求められる役割を理解する。														
講義内容及び方法	<table><tr><th>開講日</th><th>講義内容</th><th>講義方法</th></tr><tr><td>6 月 20 日(金) ※オンライン</td><td>『F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ』 ・F-SOAIP の概要（定義・DX 等の政策） ・PDCA サイクルにおける実施段階の経過記録と IPW・諸課題との関連 ・IPW を可視化する F-SOAIP の理解 ・F-SOAIP の書換：IPW に役立つ場面 ・新たな挑戦を意味づけるリフレクション</td><td>※F-SOAIP ワークシート【初回版】提出 →当日提出できなかったシート等は、6/29 までに提出</td></tr><tr><td>8 月 7 日(木) ※オンライン</td><td>『F-SOAIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～』 ・第 1 回リフレクションや課題等を共有 ・講義（F-SOAIP の応用版（カンファレンスや事例検討、LIFE のフィードバック活用・分析、OJT、BCP 等）、特徴的場面（苦情対応、ヒヤリハット、意思決定支援、認知症 BPSD、看取り等）、F-SOAIP アプローチ ・IPW に着目したリフレクション</td><td>※7/27 までに F-SOAIP ワークシート【導入版】を提出 ※当日提出できなかったリフレクションは、8/17 までに提出</td></tr><tr><td>9 月 26 日(金) ※オンライン</td><td>『先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW の実践変容や DX を展望する』 ・第 2 回リフレクションや課題等を共有 ◆ゲスト数名による実践報告・交流 ・F-SOAIP 好循環モデルの作成・共有 ・IPW の好循環に向けたリフレクション</td><td>※どちらかを事前提出 F-SOAIP ワークシート【OJT 版】（9/14 まで） IPW・F-SOAIP 実践シート（9/21 まで） ※当日提出できなかったシート等は、10/5 までに提出</td></tr></table>			開講日	講義内容	講義方法	6 月 20 日(金) ※オンライン	『F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ』 ・F-SOAIP の概要（定義・DX 等の政策） ・PDCA サイクルにおける実施段階の経過記録と IPW・諸課題との関連 ・IPW を可視化する F-SOAIP の理解 ・F-SOAIP の書換：IPW に役立つ場面 ・新たな挑戦を意味づけるリフレクション	※F-SOAIP ワークシート【初回版】提出 →当日提出できなかったシート等は、6/29 までに提出	8 月 7 日(木) ※オンライン	『F-SOAIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～』 ・第 1 回リフレクションや課題等を共有 ・講義（F-SOAIP の応用版（カンファレンスや事例検討、LIFE のフィードバック活用・分析、OJT、BCP 等）、特徴的場面（苦情対応、ヒヤリハット、意思決定支援、認知症 BPSD、看取り等）、F-SOAIP アプローチ ・IPW に着目したリフレクション	※7/27 までに F-SOAIP ワークシート【導入版】を提出 ※当日提出できなかったリフレクションは、8/17 までに提出	9 月 26 日(金) ※オンライン	『先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW の実践変容や DX を展望する』 ・第 2 回リフレクションや課題等を共有 ◆ゲスト数名による実践報告・交流 ・F-SOAIP 好循環モデルの作成・共有 ・IPW の好循環に向けたリフレクション	※どちらかを事前提出 F-SOAIP ワークシート【OJT 版】（9/14 まで） IPW・F-SOAIP 実践シート（9/21 まで） ※当日提出できなかったシート等は、10/5 までに提出
開講日	講義内容	講義方法													
6 月 20 日(金) ※オンライン	『F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ』 ・F-SOAIP の概要（定義・DX 等の政策） ・PDCA サイクルにおける実施段階の経過記録と IPW・諸課題との関連 ・IPW を可視化する F-SOAIP の理解 ・F-SOAIP の書換：IPW に役立つ場面 ・新たな挑戦を意味づけるリフレクション	※F-SOAIP ワークシート【初回版】提出 →当日提出できなかったシート等は、6/29 までに提出													
8 月 7 日(木) ※オンライン	『F-SOAIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～』 ・第 1 回リフレクションや課題等を共有 ・講義（F-SOAIP の応用版（カンファレンスや事例検討、LIFE のフィードバック活用・分析、OJT、BCP 等）、特徴的場面（苦情対応、ヒヤリハット、意思決定支援、認知症 BPSD、看取り等）、F-SOAIP アプローチ ・IPW に着目したリフレクション	※7/27 までに F-SOAIP ワークシート【導入版】を提出 ※当日提出できなかったリフレクションは、8/17 までに提出													
9 月 26 日(金) ※オンライン	『先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW の実践変容や DX を展望する』 ・第 2 回リフレクションや課題等を共有 ◆ゲスト数名による実践報告・交流 ・F-SOAIP 好循環モデルの作成・共有 ・IPW の好循環に向けたリフレクション	※どちらかを事前提出 F-SOAIP ワークシート【OJT 版】（9/14 まで） IPW・F-SOAIP 実践シート（9/21 まで） ※当日提出できなかったシート等は、10/5 までに提出													
事前学習・準備等	・受講前に F-SOAIP の HP（ https://seikatsu.care/ ）より、F-SOAIP のリーダー研修受講者等による専門雑誌での実践報告テーマや動画等をご確認ください。 ・受講者には、第 1 回目に使用する F-SOAIP ワークシート【初回版】を配信しますので、所定の欄に、F-SOAIP へ書き換えたい場面を入力しておいてください。 ・Zoom と Google スライドを使用して実施します。基本的な操作方法（Zoom：チャットへの入力、名前変更、ブレイクアウトルーム内への移動、画面共有／Google スライド：表や付箋への入力）などは、各自で実施できるようご準備ください。 ・研修当日は一人 1 台使用できるパソコンをご用意ください。														



ファシリテータ研修



多職種連携実践における様々なミーティング、会議、カンファレンス、サービス担当者会議など、多様な意見や価値観を持ったメンバーの望ましい合意形成に導くファシリテーションスキルについて一緒に楽しく学びましょう

受講前

せっかく会議をするのであれば、参加者の満足度をあげられる会議の運営ができないかなと、そのスキルを身につけたいと思い受講しました



受講後

3回の受講を通して、研修で学んだことを持ち帰って振り返りながら、日々実践することで、多様なスキルを理解できました。今後も実践で意識したいです。

受講者の声

受講前

サービス担当者会議や研修でファシリテータをすることが多いのですが、「ファシリテータ」の役割を本当にできているのかなと思って・・・学び直しができたらなあ



受講後

「ファシリテータ」のとらえかたが変わりました。今までひとりで背負いこみすぎていたようです・・・あらためて学ぶって大切ですね。

日程

1日目 6月 7日(土) 9:30~16:30 (講義・演習):対面
2日目 6月 28日(土) 9:30~16:30 (講義・演習):対面
3日目 7月 12日(土) 9:30~16:30 (実践演習):対面

受講対象

全日程(3日間)を受講できる方で、以下に該当する方

- 専門職連携について学びたい方
 - 専門職としてのキャリアアップや新たな知見の習得、IPWの実践を目指す社会人の方
- ※受講者の職種や勤務年数など問いません

定員

20名

受講料

9,000円(3日間)

会場

埼玉県立大学(越谷市三野宮 820) ※全日程会場での対面開催

担当 講師



小川孔美

<社会福祉子ども学科>



國澤尚子

<看護学科>



柴田貴美子

<元作業療法学科>



岡田茂治

<健康開発学科>

個別講座名	ファシリテータ研修		
担当教員	○小川孔美、國澤尚子、柴田貴美子、岡田茂治		
開講日時	6月 7日(土)(1日目) 9:30~16:30 (講義・演習:対面) 6月28日(土)(2日目) 9:30~16:30 (講義・演習:対面) 7月12日(土)(3日目) 9:30~16:30 (実践演習:対面)		
総時間数	研修時間数:18時間(6時間×3日間) 履修証明プログラムにおける時間数:24時間* *1時間=45分間(実質の受講時間)+15分間(自己学習)		
講義概要	・多様な意見や価値観を持ったメンバーを望ましい合意形成に導くファシリテーションスキルについて講義と演習を通して学ぶ ・多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの基礎習得を目指す		
到達目標	(1) IPWにおけるファシリテーションの意義を理解できる (2) ファシリテータの役割について理解できる (3) 効果的なファシリテーションスキルを確認する。 (4) 演習(グループワーク&ロールプレイ)を通してファシリテーション実践の理解を深める。		
講義内容及び方法	開講日	講義内容	講義方法
	第1回 6月 7日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	・オリエンテーション ・ファシリテーションが必要とされる機会 ・IPWのチームとは ・ファシリテータ総論 ・ファシリテーションの役割 ・合意形成のステップ	講義・演習
	第2回 6月28日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	・ファシリテータ各論 ・ファシリテーションコアスキル ・論点と意見の仕分け ・問いのスキルを磨こう ・議論のノイズになる参加者への対応	講義・演習
	第3回 7月20日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	・ファシリテータ実践 グループ演習及びリフレクション (個人、グループ)	演習実践